

空気より軽い12A・13Aガス用

ネットワーク機能付き

家庭用 ガス・CO 警報器



一般財団法人 日本ガス機器協会検査合格品

型式名 XW-755

取扱説明書

ネットワーク機能は、以下の内容に同意したうえでご利用ください

本警報器は、お客様の自宅の通信環境(常時接続のインターネット環境、ネットワーク環境、お客様自宅の無線LANルーター(以下、ルーター))と接続することで、サービス情報を配信するサーバー(以下、サーバー)と情報のやり取りを行い、各種情報を提供することができます。通信環境はお客様でご準備ください。インターネットに接続すると、警報器の稼働状況や警報器が検知、感知したセンサのデータを、サーバーへ自動的に送信します。これらの情報はお客様へへの各種情報提供に加え、警報器の稼働状況の確認や、商品、サービスの開発、改良などの目的で使用されます。ご同意していただいたうえで、警報器とルーターとの接続設定を行ってください。ご同意いただけない場合は、ルーターとの接続は行わないでください。

新コスモス電機株式会社

本 社	〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中 2-5-4	06(6308-2310) 既
北 海 道	札幌 (011) 231-1101 既	[中 部] 名古屋 052(951-2650) 既
[東 北]	仙台 (022) 295-6061 既	静岡 (054) 255-1901 既
[北 陸]	金沢 (076) 234-5611 既	[関 西] 大阪 (06) 6308-2310 既
[関 東]	東京 (03) 5403-2707 既	[四 国・中 国] 岡山 (086) 435-5087 既
	新潟 (025) 365-1390 既	広島 (082) 568-2800 既
		[九 州] 福岡 (092) 431-1881 既

保証書

このたびは警報器をお取り付けいただき、ありがとうございます。お取り付けいただきました商品につきまして、本保証書記載の内容により保証させていただきます。

高品名	ガス・CO警報器
型 式	XW-755

記

- 保証期間**
警報器本体の有効期限はお取り付け後5年間です。有効期限は、警報器本体ラベルに記載しておりますので、ご確認ください。この有効期限までが保証期間となります。
 - 保証の内容**
取扱説明書に正常にご使用状態で、前記の保証期間中に故障した場合には、お申し出により無償にてお取り替えさせていただきます。お取り付けた販売店もしくは最寄りのガス会社へご連絡の上、本書をご提示いただいたお無償でお取り替えできない場合がございます。[「保証の適用除外」]の項目に記載しておりますのでご確認ください。
 - 保証の範囲**
保証は警報器本体を対象とします。警報器本体以外に生じた損害は、本保証書に定められた保証の対象ではありません。
 - 保証の適用除外**
保証期間内であっても次の場合は有料点検・有料取り替えとなります。
 - ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お取り付けた場所の移動、落下などによる故障および損傷。
 - 地震、風水害、落雷、その他の天災、地変による故障および損傷。
 - 火災、爆発、爆震、降伏、腐食性損、腐食性の有害ガス、ほこり等、ならびに異常気象、異常電圧、異常電磁場などによる故障および損傷。
 - 動物類、昆虫類等に起因する故障および損傷。
 - 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障および損傷。
 - 音、振動、塗装の退色、メッキの軽微な傷、跡と設計仕様の範囲内の感覚的な現象、経年変化による場合。
 - 施工説明書および取扱説明書等に指示する方法以外の工事設計または取付工事等が原因で生じた不具合、故障および損傷。
 - 警報器に表示してあるガスの種類以外のガスでご使用になられた場合による故障および損傷。
 - 警報器が故障が認められない場合。
 - 本書にて提示がない場合。
 - 本書にお取り付け、販売店名の記入のない場合、あるいは販売店の訂正印なしで、字句を書きかかれた場合。
 - その他製造元の責任によらない故障および損傷。
- お客様へ**
 - 有効期限を経過したものに つきましては保証致しません。また、有効期限後はぜひ新しいものとお取り替えください。
 - 本書は日本国内のみ有効です。 ※This warranty is valid only in Japan.
 - 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- ※この保証書は、保証期間内に本書に示す条件において無償での取り替えをお約束するものではありません。
- ※お客様にご記入いただいた個人情報、保証期間中の無償での取り替えおよび安全点検活動のために利用させていただく場合がございます。ご了承ください。
- ※この保証書によって、保証書を発行している者(保証者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法的権利を制限するものではありません。

お取付日	年	月	日
お 客 さん	〒		
ご 住 所			
お 名 前			
販 売 店	様		
製造元	新コスモス電機株式会社 〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2-5-4 TEL.06(6308) 2310		

<ガス・CO警報器全般>

- ガス・CO警報器をお取り付けいただきありがとうございます。
- この取扱説明書はガス・CO警報器の取扱方法を説明します。
- お使いになる前に、この取扱説明書を必ず読んで、内容をご理解したうえで取り扱ってください。
- 本書は、保証書とサーバーに接続する際に使用する設定URLシールがついてきます。取扱説明書はお手元に残し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。
- 本書を紛失され、内容に不明な点があった場合は、販売店または最寄りのガス会社にお問い合わせください。
- 本警報器は、ガスやCOを検知して警報を発するものです。ガスもれや不完全燃焼によるCOの発生を未然に防止する装置ではなく、また、ガスもれやCOによる損害を防止することを保障するものではありません。ガスもれやCOなどによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本警報器は、ガスやCOを検知して警報を発するものです。ガス検知部がガスやCOが到達しない場合は、ガス警報機能やCO警報機能が働かせません。

<警報器のネットワーク機能について>

- 本警報器は、ルーターと通信を行うことで、サーバーと情報のやり取りを行うことができます。ルーターの仕様、セキュリティ設定についてはルーターの取扱説明書をご確認ください。
- ※ 法令上、電気通信事業者(移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダなど)と通信回線(公衆無線LANを含む)に直接接続することはできません。
- 全てのルーターとの接続や、いかなる通信環境での使用を保証するものではなく、お客様がお使いのルーターによっては、警報器との接続・通信ができなかったり、接続・通信に時間がかかったり、ご使用時一時的な通信断が発生する場合がございます。ご了承ください。
- 本警報器は、スマートフォンまたはタブレット、PCを用いて警報器をサーバーに登録することができます。インターネットにアクセスする必要がある情報端末をネットワーク機能に関するソフトウェアをサーバーから自動的にダウンロードし更新する場合があります。
- 警報器がサーバーと通信するため、インターネットの通信費がかかります。インターネット、スマートフォンなどのご利用に関わる料金は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。
- 工場出荷時は、ネットワークに接続しない設定になっています。
- 本警報器は家庭用の電子機器として設計されています。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム(幹線通信機器や電線システムなど)では使用しないでください。
- 本警報器のサーバー通信に関するソフトウェアは日本国内仕様です。日本国外でご利用の場合は責任を負いかねます。
- ネットワーク機能のご利用にあたり本警報器に対して生じた損害につきましては、当社に法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

<サーバーからの各種情報の提供(以下、サービス)について>

- 本警報器は、お客様のルーター・インターネット回線に接続し、お客様の情報端末で利用開始いただくことで、サービスを受けることができます。サービスの利用方法や利用するうえでの特約事項等については、別紙「ご利用ガイドブック」をご覧ください。
- 一部のサービスでは、本警報器に内蔵されている警報器周辺の人の動きを感知するセンサ(以下、人感センサ)を利用して、人感センサの感知情報に基いた情報の配信を行います。人感センサは、周囲温度と動いている人・物の温度の差を感知しています。警報器周辺の温度が高い(30℃を超える)場合は、人の動きを感知しづらくなることがありますのでご了承ください。
- 一部のサービスでは、本警報器に内蔵されている警報器周辺の温度を検知するセンサ(以下、温度センサ)を利用して、温度センサの検知情報に基いた情報の配信を行います。
- 本警報器は、サービスの確実な提供を保証するものではありません。
- お客様自宅の通信環境などにより、サービスの一部または全部が提供できない場合があります。
- 予告なくサービスの一部、または全部が変更されることがあります。
- ご準備いただくインターネット環境について>
- インターネットプロバイダー(インターネット接続業者)と常時接続のブロードバンド回線の契約が必要です。
- インターネットに接続する際毎回ID認証を行うよう方をされている場合は、ご利用できません。
- ダイヤルアップ、モバイルルーターやスマートフォンのテザリングではご利用できません。
- ご準備いただくルーターについて>
- 対応ルーター：2.4GHz帯(IEEE 802.11 b/g/n)
- ※本警報器は、2.4GHz帯のみで使用できます。
- ルーターのセキュリティに関する設定を「WPA/WPA2」「WPA2」「WPA」の暗号化方式に設定してください(「WEP」の暗号化方式にも対応しておりますが、情報セキュリティの観点から推奨いたしません)。これら以外のセキュリティ設定を行うと、警報器とルーターが接続できません。

<無線LAN通信に関する注意>

- 本警報器の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)、特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、アマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。
 - ・本警報器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 - ・万一、本警報器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合は、お問い合わせください。
 - ・その他、本警報器から移動体識別用の特定小電力無線局がアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、お問い合わせの販売店または最寄りのガス会社にお問い合わせください。
- 無線LAN機器をご利用の場合は、帯域設定無にかかわらず電波を使用している関係上、傍受される可能性があります。
- 無線LANは、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという特徴があります。その反面、電波がある範囲内であれば壁などの障害物を超えやすいため、場所によって、通信内容を盗み見られたり不正に入力されるなどの可能性があります。
- ルーターのセキュリティに関する設定を適切に行っていない場合、悪意ある第三者が無断で個人のネットワークにアクセスすることで、以下のようなセキュリティ問題が発生する可能性があります。
 - ・個人情報や機密情報を取り出す(情報漏えい)
 - ・特定の人物になりますまで通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
 - ・傍受した通信内容を書き替えて発信する(改ざん)
 - ・コンピュータウイルスなどを流し、データやシステムを破壊する(破壊)
- 無線LAN接続設定時にお客様に利用制限がない機器およびネットワークとの接続を行わないでください。
- 廃棄する場合は、無線LAN機能の初期化を行ってください。(P.11「ネットワーク情報の初期化について」参照)

<電波法に関する注意>

- 本警報器は、電波法に基づく特定小電力無線機器として技術基準適合証明を受けています。従って、本警報器を使用するときに無線局の許可は必要ありません。
- 本警報器は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局として、工事設計認証を受けた無線設備を内蔵しています。
- 本警報器は、日本国外での電波法には準じていません。日本国内でお使いください。

安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

- △危険** 誤った取り扱いをすることで「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される」内容を示します。
- △警告** 誤った取り扱いをすることで「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。
- △注意** 誤った取り扱いをすることで「傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の内容

- 「必ず行う」事項を示しています。
- 「火気厳禁」事項を示しています。
- 「ぬれ手禁止」事項を示しています。
- 「水ぬれ禁止」事項を示しています。
- 「分解禁止」事項を示しています。
- 「一般的な禁止」事項を示しています。

ガス警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。火花などにより、爆発の恐れがあります。

ガス警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。

マッチやライターなど、火気を使わないでください。

換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しないでください。

電源プラグを抜かないでください。

部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。

CO警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。CO濃度が上昇し、短時間で生命に危険が生じる恐れがあります。

CO警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。

部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。

常に電源が入っていること(緑(電源)ランプ点灯)を確認してください。

電源が入っていないとガスもれ、COが発生しても、警報を発しません。

設置後、5年(有効期限)を過ぎた警報器は、新しい警報器とお取り替えください。

- 殺虫剤(くん煙・くん蒸・噴射式)を使用するときは、以下の内容を必ず守ってください。(P.9参照)
 - 警報器をポリ袋などで覆ってください。
 - 殺虫剤の使用が終わったら、換気した後、ポリ袋を取り除いてください。誤作動または不動作の原因となります。

警報器や電源プラグを水につけたり、水をかけたりしないでください。

感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります。

分解や改造はしないでください。

警報器本体や電源プラグに衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

警報器をお手入れするとき以外は、電源プラグを抜かないでください。

電源コードにステップや釘などを打たないでください。火花の原因となります。

ガス検知部は、絶対にふさがなくてください。

ガスもれまたはCOを検知しなくなります。

煙感式住宅用火災警報器に用いられる点検ガスを噴霧しないでください。ガスセンサの故障の原因となります。

電源プラグは、以下の内容を必ず守ってください。火災・感電・電源プラグ破損の恐れがあります。

電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭いてください。火災の原因となります。

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。感電・ショート・発煙・発火や、電源プラグ部分の過熱による焼損の恐れがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電する恐れがあります。

警報器の電源プラグに大きな力をかけないでください。

警報器をお手入れするときは、必ず電源プラグを抜いてください。感電やけがの原因となります。

警報器の取り外し・取り付けを行うときや、警報器をポリ袋で覆うときは、安定した踏み台を使い、十分注意してください。

転落・転倒・落下によるけがの恐れがあります。

取付位置を移動させないでください。警報の遅れの原因となります。

取付位置を変える必要が生じたときは、お買い求めの販売店または最寄りのガス会社にご相談ください。

警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。警報の遅れの原因となります。

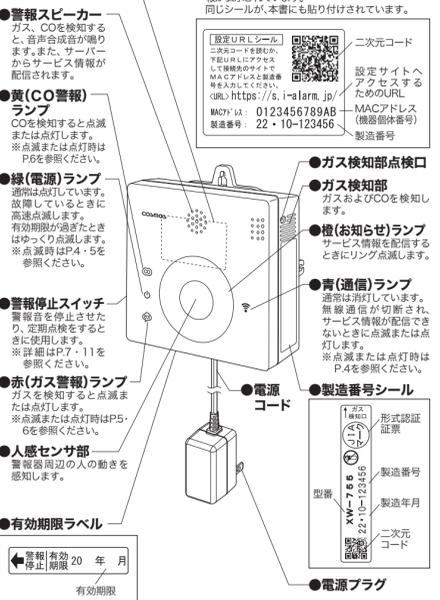
警報器の近くでラジオなどを使用しないでください。ラジオなどにノイズ(雑音)が入ることがあります。警報器から距離を離してお使いください。

対象ガス

△注意

- この警報器は都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス)および燃焼排ガス中のCOを検知します。
- 都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス)供給区域外ではお使いにならないでください。

各部のなまえとはたらき



■ランプのつきかたについて
取扱説明書中のランプの点灯、点滅は次のように動作します。

点灯	連続して点灯	
点滅	0.5秒ごとに1回点滅	
高速点滅	0.25秒ごとに1回点滅	
ゆっくり点滅	3秒ごとに2秒点灯	
リング点滅	段階的に点灯と消灯を繰り返す	

ランプ表示・音声出力の事象一覧表

ランプ	音	音	音	音	音声内容	事象	対応方法
緑(電源)点灯	常時点灯	青(通信)点灯	常時点灯	緑(電源)点灯	なし	通常動作(監視中)	—
点灯	消灯	点滅	※1	消灯	なし	ガス注意報	P.5参照
点灯	点滅	消灯	※1	消灯	ガス警報音声「ワーワーピッピッピッピッ」が鳴っています	CO注意報	P.6参照
点灯	点滅	消灯	※1	消灯	CO警報音声「ワーワーピッピッピッピッ」が鳴っています	CO警報	P.6参照
点灯	点滅	点滅	※1	消灯	なし	ガス注意報とCO注意報	P.5・6参照
点灯	点滅	点灯	※1	消灯	ガス警報音声「ワーワーピッピッピッピッ」が鳴っています	ガス注意報とCO注意報	P.5・6参照
点灯	点滅	点灯	※1	消灯	CO警報音声「ワーワーピッピッピッピッ」が鳴っています	CO警報とガス注意報	P.6参照
点灯	点滅	点灯	※1	消灯	ガス警報音声「ワーワーピッピッピッピッ」が鳴っています	ガス注意報とCO警報	P.6参照
高速点滅	消灯	消灯	※1	消灯	故障警報音声(警報器が故障警報により故障と判別した状態)	故障警報(警報器が故障警報により故障と判別した状態)	販売店に連絡してください
ゆっくり点滅	消灯	消灯	※1	消灯	有効期限切れ音声「ピー」が鳴っています	有効期限切れ(警報器の有効期限が半年以上過ぎた状態)	販売店に連絡してください
点灯	消灯	消灯	リング点滅	サービス情報配信	※2	サービス情報配信	—

※故障したときは、上記以外の表示音声を出す場合があります。この場合、販売店にご連絡ください。
※1 青(通信)ランプは、警報器の無電源状態をお知らせしています。
消灯→サービス情報が配信できる状態です。
点滅→サービス情報が配信できない状態です。ルーターとつながっていません。
点灯→サービス情報が配信できない状態です。ルーターとつながっていません。
※2 サービス情報音声は、サービス内容により様々な音が鳴ります。

警報器のお知らせ機能について

ガスがもれたときは、警報器周囲のCOが規定濃度以上になると作動します。低濃度のときは注意報が作動し、高濃度になると警報が作動します。

注意報	警報
P.5参照	P.6・7参照

緑(電源)ランプ点灯
赤(ガス警報)ランプ点滅
赤(ガス警報)ランプ点灯

緑(電源)ランプ点滅
赤(ガス警報)ランプ点灯
赤(ガス警報)ランプ点灯

緑(電源)ランプ点灯
赤(ガス警報)ランプ点滅
赤(ガス警報)ランプ点灯

有効期限が過ぎたときは

有効期限を半年以上過ぎると緑(電源)ランプがゆっくり点滅し、警報停止スイッチを約1秒間押しすと、「ピー」有効期限が切れています 販売店に連絡してください」が鳴ります。また、有効期限を半年以上過ぎると電源を再投入すると、30秒後に「警報器正常です」が鳴らず、「有効期限が切れています 販売店に連絡してください」が鳴ります。 ※販売店までご連絡ください。

サーバーのサービス情報が配信されるときは

情報が配信されると、橙(お知らせ)ランプがリング点滅します。配信されるサービス情報の内容と配信頻度については、別紙「ご利用ガイドブック」をご参照ください。

※ サービス情報の配信中に、ガス警報・CO警報・故障・有効期限切れが起こった場合は、配信が中断されます。

使用方法

1 電源プラグをコンセントに差し込んでください。緑(電源)ランプが点滅し、警報器が監視状態に入る準備状態になります。

2 電源に接続してから約30秒後、ランプが全点灯した後、消灯します。

3 COがなくなれば、警報音が鳴りやみます。【黄(CO警報)ランプ消灯】

3 「正常です」と鳴って緑(電源)ランプが点灯し、監視状態に入ります。【警報器が故障している場合】

「正常です」とは鳴らずにP.4に記載している故障発生時の動作となります。 ※販売店までご連絡ください。

警報器が作動したら

1 赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプが点滅しているときの処置のしかた

1 ドアや窓を開けて換気してください。しばらく換気を続けると、ランプは消灯します。

2 原因を確認してください。もれたガスがまだ多い場合(赤(ガス警報)ランプが点滅します。CO濃度が上昇している場合(黄(CO警報)ランプが点滅します。室内の空気の汚れにも反応することがあります。(P.7参照)

2 『ワーワーピッピッピッピッ ガスがもれていませんが』と鳴ったときの処置のしかた【赤(ガス警報)ランプが点灯】

1 ドアや窓を開けて換気してください。

2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉めてください。

3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやみます。【赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプ消灯】

4 ガスもれやCO発生の原因を点検してください。

1 ドアや窓を開けて換気してください。

2 ガス栓や器具栓を閉めてください。

3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやみます。【赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプ消灯】

4 ガスもれやCO発生の原因を点検してください。

1 ドアや窓を開けて換気してください。

2 ガス栓や器具栓を閉めてください。

3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやみます。【赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプ消灯】

4 ガスもれやCO発生の原因を点検してください。

3 ガスがなくなれば、警報音が鳴りやみます。【赤(ガス警報)ランプ消灯】

4 ガスもれの原因を点検してください。原因としては、素こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

3 『ワーワーピッピッピッピッ 空気が汚れて危険です窓を開けて換気してください』と鳴ったときの処置のしかた【黄(CO警報)ランプが点滅または点灯】

5 部屋の外から警報音に気づいたときの処置のしかた

△危険

警報音が鳴っている間は、**部屋の外からすぐに入室しないでください。**
部屋の外からの濃度が濃くなっている場合が考えられます。
・CO濃度が濃くなっていることがあり、短時間で生命に危険をおよぼす恐れがあります。
・火花などによる爆発やCO中毒の恐れがあります。



1 部屋に入らないでください。
室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気してください。

2 ガスメーター近くのメーターガスを開めてください。
メーターガスを開けるときはガスメーターにご連絡ください。

3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやみます。
4 部屋に入り、赤(ガス警報)ランプ・黄(CO警報)ランプの消灯を確認してください。

5 ガス栓や器具栓を閉めてください。



6 ガスもれやCO発生の原因を点検してください。
原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

処置をしても、警報音が鳴りやまないときは

最寄りのガス会社へ連絡する。

- たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。(有償)
- ガス機器以外の燃焼機器(石油ファンヒーター、石油ストーブなど)が原因で鳴ることもありまますので、これらの機器についても点検を受けてください。

6 異常がないのに警報音が鳴ったり、ランプが点滅したときの処置のしかた

ガスやCO以外の空気の汚れで、赤(ガス警報)ランプや黄(CO警報)ランプが点滅したり、警報音が鳴ったときは

【警報音を止めたとき】
警報停止スイッチを押すと、
● ガス警報の警報音は1回だけ5分間止めることができます。
● CO警報は、黄(CO警報)ランプが点滅しCO警報音が鳴っている場合のみ、警報音を1回だけ5分間止めることができます。
※ 警報器周囲のガスとCOが規定濃度以下になっていない場合、停止時間経過後に再び警報音を発します。
※ 警報音停止中に警報停止スイッチを押しても、音声鳴動はしません。

1 ドアや窓を開け、しばらく換気を続けてください。

2 警報器周囲の空気の汚れがなくなると、ランプの点滅や警報音が止まります。

【警報音が鳴ったり、ランプが点滅した原因について】

以下の原因が考えられますので、調べてください。

- スプレー式殺虫剤やヘアスプレーなどを、警報器にかけていませんか。
 - タバコの煙を警報器に吹きかけていませんか。
 - 芳香剤などの濃いガスが警報器にかかっていますか。
 - 線香の煙が警報器にかかっていますか。
 - 溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用していませんか。
 - アルコール類やくん煙式、くん蒸式の殺虫剤が高濃度になっていませんか。
 - フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用していませんか。
 - 長時間、部屋を閉め切っていませんか。
 - 焼き魚の煙などが警報器にかかっていますか。
 - みりんや酢などの調味料成分を含んだ蒸気が、警報器に大量にかかっていますか。
 - 可燃性のガスなどを使用していませんか。
 - 警報器の通常の電圧範囲はAC100V±10Vです。それ以外で使用していませんか。
 - 長い間閉め切っている部屋に設置していませんか。建材などから発生する成分の作用によって、警報音が鳴りやすくなることがあります。
- 以下の場合には、ガスもれやCOで警報しており誤報ではありません。
- 換気が十分でない状態で、湯沸かし器を使用した場合。
 - ガスコンロの着火ミスがあった場合。
 - 自動車の排気ガスが室内に入った場合。
 - 炭火や練炭を使用した場合。

お手入れのしかた

1 電源プラグをコンセントから抜いてください。(P.8参照)

2 警報器を取り外してください。(P.8参照)

3 警報器および取付部付近の壁面の汚れをふき取ってください。

- 警報器取付・壁面に水に水たは石けん水を薄し、よく絞ってからふき取ってください。
- 電源プラグ 乾いた布でふき取ってください。

おたがい

- お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。

- お手入れするときは、中性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールは使わないでください。アルカリ性洗剤などを使うと、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらく赤(ガス警報)ランプが点滅したり、警報音が鳴りやまることがあります。

4 警報器を取り付けてください。(P.8参照)

- 警報器の電源が入ります。
緑(電源)ランプが点滅し、約30秒後ランプが全点灯した後消灯し、正常であれば「正常です」と鳴って緑(電源)ランプが点灯になり、警報器は監視状態に入ります。
異常があれば「故障です販売店に連絡してください」と鳴りますので、警報器の交換をお願いします。

電源プラグを差し込む 差し込みから約30秒後 【監視状態】



6 ガスもれやCO発生の原因を点検してください。
原因としては、煮こぼれ、ゴム管の外れ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。

殺虫剤(くん煙・くん蒸・噴射式)を使用するときは

△警告

殺虫剤を使用した後は、必ず部屋の換気をし、ポリ袋を外してください。警報器が作動しません。

電源プラグを抜かないでください。
電源プラグを抜き、警報器をポリ袋で覆わずに殺虫剤を使用すると、使用後に再び電源プラグを差し込んだときに警報音が鳴ることがあります。

△注意

ポリ袋の取り付け・取り外しや警報器の壁面からの取り外し・取り付けは、高いところでの作業になりますので、しっかりと足踏み台を使って、十分に注意して行ってください。
※ 以降の動作が一連の動作となります。一つの機能だけを選択して設定することはできません。

1.警報器をポリ袋で覆ってください

警報器を取り付けている部屋で殺虫剤を使用するときは、警報器が噴射ガスに反応して警報音が鳴る恐れがありますので、必ず警報器に次の処置をしてください。

【警報器を壁面から取り外して安定した場所に置けるとき】
(準備するもの)
● ポリ袋(30cm×30cm×1枚)
● プロピレン製(☑または>PP<表示) ※ポリエチレン製でも一定の効果があります。
● ひも(1本)
● 粘着テープ

- 【処置のしかた】**
- 警報器を取り外してください。
 - 警報器にポリ袋を被せ、袋の口を電源コードの上からひもで縛ってください。
 - ポリ袋と電源コードの間にすき間ができないように、ポリ袋の開口部分に粘着テープを巻き付けてください。
 - ポリ袋を傷めないように、警報器を安定したところに置いてください。

【警報器を壁面から取り外して安定した場所に置けないとき】

- (準備するもの)
● ポリ袋(30cm×30cm×1枚)
● プロピレン製(☑または>PP<表示) ※ポリエチレン製でも一定の効果があります。
● 輪ゴム(3本)
● 粘着テープ
- 【処置のしかた】**
- ポリ袋を警報器の前面から覆い被せ、コード巻き取り部分を輪ゴム(3本)でしっかりと止めてください。

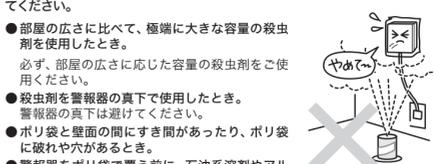
2.殺虫剤を使用してください

以下のようなときは、ポリ袋で覆っていても警報音が鳴ることがあります。殺虫剤を使用するときは、事前に住宅管理者やご近所の方に、連絡しておいてください。

- 部屋の広さに比べて、極端に大きな容量の殺虫剤を使用したとき。
- 必ず、部屋の広さに応じた容量の殺虫剤をご使用ください。
- 殺虫剤を警報器の真下で使用したとき。警報器の真下は避けてください。
- ポリ袋と壁面の間にすき間があったり、ポリ袋に破れや穴があるとき。
- 警報器をポリ袋で覆う前に、石油溶剤やアルコール類などを使用したとき。ガス検知部に影響を与える成分が封じ込められます。
- 経年変化によって、ガス検知部が敏感になっているとき。

3.ポリ袋を取り外してください

殺虫剤の使用が終わったら、ポリ袋を外してください。警報器を取り外した場合は、元の位置に取り付けてください。



【取り付けかた】

- 警報器を木ねじに引っ掛けてください。
- 木ねじを締め付けて固定してください。
- 電源コードをコード振れ止めに取り付けてください。

● 警報器が確実に固定されていることを確認してください。

● 粘着テープを外すときは、壁面などを傷めないように慎重に行ってください。

設定の手順(人感確認、ルーター接続、自動初期点検)

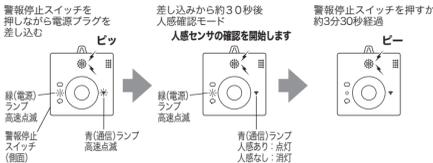
この警報器は、警報器の警報停止スイッチを押しながら、電源プラグを差し込むことで、人感センサの感知範囲確認と、ルーターとの接続(異なるルーターへの再接続を含む)、自動初期点検を行うことができます。

1.設定モードの立ち上げ

- 警報停止スイッチを押しながら電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- そのまま3秒以上警報停止スイッチを押し続けると、「ピッ」とお知らせした後、緑(電源)ランプと青(通信)ランプが高速度点滅します。スイッチから手を離してください。
- 登録に失敗した場合は「登録できません」と鳴ります。電源プラグを抜いて、再度、人感センサの感知範囲確認からやり直してください。

2.人感センサの感知範囲確認

- 緑(電源)ランプと青(通信)ランプが約30秒高速度点滅した後、人感確認モードに入ります。人感確認モードでは、人の動きを感じた場合、青(通信)ランプが点灯し、人の動きを感じていない場合、青(通信)ランプが消灯します。室内を移動するなどして、感知範囲が適切かどうか確認してください。
- 警報停止スイッチを約1秒間押すと約3分30秒経過すると、「ピー」と終了音が鳴り、「3.ルーターとの接続」へ移行します。 ※ 人感センサの感知範囲確認を行った結果、警報器の取付位置の移動を希望される場合は、販売店にご相談ください。



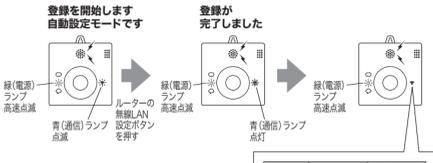
3.ルーターとの接続

【ルーターの無線LAN設定ボタンを使用して自動で設定する場合】
△注意

本警報器は2.4GHzの周波数帯の無線を使用しています。デュアルバンド(5GHzと2.4GHz)対応のルーターで自動設定を行う場合、本警報器がルーター側からのOWPS信号を受信するタイミングによって、目的のSSIDとWPS接続できない場合があります。

- ※ ルーターの無線LAN設定ボタンによる自動設定ができない場合は、情報端末を使用した手動設定を行ってください。

- 緑(電源)ランプが高速度点滅、青(通信)ランプが点滅し「登録を開始します自動設定モードです」と鳴ります。
- ルーターの無線LAN設定ボタンを押してください。
- 警報器とルーターの接続が確立すると、青(通信)ランプが点灯し「登録が完了しました」と鳴り、ルーターとの通信強度が5秒間表示されます。ルーターの通信強度が「強」となる場所に設置するようにしてください。
- 登録に失敗した場合は「登録できません」と鳴ります。電源プラグを抜いて、再度、人感センサの感知範囲確認からやり直してください。



● 通信強度「強」が表示される場所に設置してください。

【情報端末を使用して手動で設定する場合】

警報器を一時的にネットワークのアクセスポイントにして情報端末と接続し、情報端末からルーター情報を警報器に入力することで、警報器とルーターを接続することができます。

- 緑(電源)ランプが高速度点滅、青(通信)ランプが点滅し「登録を開始します自動設定モードです」と鳴ります。
- 警報器の警報停止スイッチを約3秒間押すと「手動設定モードです」と鳴ります。



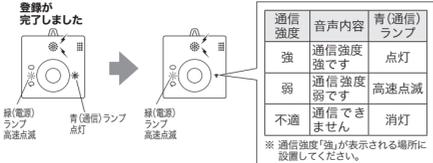
● 3 お手持ちの情報端末で「https://si-alarm.jp/」にアクセスしてください。接続先のページで「無線LAN設定」→「手動で設定する場合」を選択すると、設定画面が表示されます。

④ 情報端末の設定画面に表示された内容に従って、情報端末からWi-Fiで警報器を検索し、警報器と接続してください。警報器の操作が終了したら、情報端末で「次へ」を選択してください。

スマートフォンやタブレットのネットワーク設定から「Wi-Fi」を選択し、警報器を検索 →「fialarmAP」を選択

タブレット、PCのタスクバーからネットワークアイコンを選択し、周辺機器を検索 →「fialarmAP」を選択する

- ※ お使いの情報端末の仕様によっては、周辺機器の検索方法が異なる場合があります。
- ⑤ 情報端末の設定画面に表示された内容に従って、情報端末の操作画面でルーターの情報(SSIDやパスワードなど)を入力してください。入力が終わったら、情報端末で「次へ」を選択してください。
- ⑥ 警報器とルーターの接続が確立すると、青(通信)ランプが点灯し「登録が完了しました」と鳴り、ルーターとの通信強度が5秒間表示されます。ルーターの通信強度が「強」となる場所に設置するようにしてください。
- ※ 登録に失敗した場合は「登録できません」と鳴ります。電源プラグを抜いて、再度、人感センサの感知範囲確認からやり直してください。



4.自動初期点検機能

緑(電源)ランプが点滅し、約30秒後にランプが全点灯した後、正常であれば、「正常です」と鳴って緑(電源)ランプが点灯になり、警報器は監視状態に入ります。
万一、異常があれば、「故障です 販売店に連絡してください」と鳴りますので、警報器の交換をお願いします。



「1」～「4」の確認が終了し、警報器が監視状態になったら、P.11「12」定期点検の「サーバーとの通信点検」(定期点検)を行い、サービス情報を発信することを確認してください。

おたがい

「1」～「4」の確認が終了し、警報器が監視状態になったら、P.11「12」定期点検の「サーバーとの通信点検」(定期点検)を行い、サービス情報を発信することを確認してください。

ネットワーク情報の初期化について

本操作を行うと、警報器に記憶されたルーター情報の初期化が行われます。同じ警報器を別のルーターに接続したい場合は、情報の初期化ではなくP.10-11「設定の手順(人感確認、ルーター接続、自動初期点検)」の操作を行ってください。

- 警報停止スイッチを押しながら電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- そのまま3秒以上警報停止スイッチを押し続けると「ピッ」とお知らせした後、緑(電源)ランプと青(通信)ランプが高速度点滅します。スイッチから手を離してください。
- 警報停止スイッチを再度、約3秒間押し続けると「ピッ ピッ ピッ ピーピー」と鳴り、初期化が完了します。



定期点検

本体機能の点検

【日常点検】
日常、警報器の緑(電源)ランプが点灯していることを確認してください。

- ※ 緑(電源)ランプが消灯もしくは高速度点滅している場合は、販売店に連絡してください。(P.12「故障かな?と思ったら」を参照ください)

【定期点検】
● 動作点検
警報器が正常に動作していることを確認するために、警報停止スイッチによる点検を行ってください。

- 警報停止スイッチを約1秒間押すと「ピッ」と鳴り緑(電源)ランプが点滅しますので、手を離してください。
- 全ランプが1秒間点灯し、「正常です」が鳴ります。
※ 過去約10日以内に警報が作動した場合は、全ランプが点灯、1秒消灯のあと、最後に作動した警報の原因に併ったランプが、約1秒間点灯します。(鳴動原因表示機能によるものです)

【鳴動原因表示機能】

音声内容	緑(電源)	黄(CO警報)	赤(ガス警報)	警報の種類
無音	点灯	点灯	点灯	ガス警報 CO警報

※電源投入後、約25分以内に鳴った警報は表示されません。

● 警報音の確認
警報停止スイッチを約3秒間押すと、警報音を確認することができます。

- 警報停止スイッチを約3秒間押すと「ピッ ピッピッ」と鳴り、緑(電源)ランプが点滅しますが、手を離してください。
- 以下のように作動します。

動作順	音声内容	ランプ		
		緑(電源)	黄(CO警報)	赤(ガス警報)
1	ワーワーピッピッピッ	点滅	点灯	点灯
2	ワーワーピッピッピッ	点滅	点灯	点灯
3	ピー	点灯	点灯	点灯

サーバーとの通信点検

【日常点検】

日常、警報器の青(通信)ランプが消灯していることを確認してください。
※ 青(通信)ランプが消灯もしくは点滅している場合は、P.12「故障かな?と思ったら」を参照してください。

【定期点検】
警報器がサービス情報を発信することを確認するために、警報停止スイッチによる点検を行ってください。

- 警報停止スイッチを約6秒間押すと「ピッ ピッピッ ピッピッピッ」と鳴り、緑(電源)ランプが点滅しますので、手を離してください。
- 一定時間後、橙(お知らせ)ランプがリング点滅し、サーバーからのテスト音声が鳴ります。

故障かな?と思ったら

こんなときは	ここを確認して	こう処置してください
緑(電源)ランプが高速度点滅している。	● 電源プラグが抜けていませんか。 ● 電源ブレーカーが切れていませんか。 ● 停電していませんか。	● 電源プラグをコンセントに差し込んでみてください。 ● プレーカーを入れてください。 ● 停電でなければ、警報器の故障が考えられますので、販売店に連絡してください。
緑(電源)ランプが点滅している。	● 警報器の故障を知っていますか。 ● 警報器の本体に記憶の有効期限が切れていませんか。 ● ガスもれ、COの発生ではないのに、赤(ガス警報)ランプや黄(CO警報)ランプが点滅・点灯したり、警報音が鳴ります。	● 販売店に連絡してください。(機器故障音参照) ● 有効期限が切れていれば、販売店に連絡してください。(P.5参照) ● 原因を調べてください。(P.7参照) ● ドアや窓を開け、しばらく換気を続けてください。ランプの点滅・点灯や警報音が止まります。鳴りやまない場合は最寄りのガス会社へ連絡してください。
緑(電源)ランプが点滅している。	● ガス機器の異常が考えられます。 ● ガス機器以外の燃焼機器の異常が考えられます。	● ガス機器の点検を受けてください。(有償) ● それらの機器も点検を受けてください。
電源を入れたときに、赤(ガス警報)ランプや黄(CO警報)ランプが長く点灯する。	● 10日以内に警報を発生していませんか。	● 鳴動原因表示機能によるもので、故障ではありません。(P.5参照)
電源を入れたとき、警報停止スイッチを約1秒間押したときに「ピッ」の有効期限が切れています 販売店に連絡してください。	● 警報器の有効期限ランプに記憶の有効期限が切れていませんか。	● 有効期限が切れていれば、販売店に連絡してください。(P.5参照)
青(通信)ランプが点灯している。	● ルーターとの通信を確認してください。	● 通信が強い場合は、ルーターの位置を移動するなど通信環境を改善してください。
青(通信)ランプが点滅している。	● サーバーとの通信不良が考えられます。	● 一時的にサービスが中断されている可能性があります。ランプの点滅が長くようであれば、販売店に連絡してください。

「1」～「4」の確認が終了し、警報器が監視状態になったら、P.11「12」定期点検の「サーバーとの通信点検」(定期点検)を行い、サービス情報を発信することを確認してください。

ネットワーク情報の初期化について

本操作を行うと、警報器に記憶されたルーター情報の初期化が行われます。同じ警報器を別のルーターに接続したい場合は、情報の初期化ではなくP.10-11「設定の手順(人感確認、ルーター接続、自動初期点検)」の操作を行ってください。

- 警報停止スイッチを押しながら電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- そのまま3秒以上警報停止スイッチを押し続けると「ピッ」とお知らせした後、緑(電源)ランプと青(通信)ランプが高速度点滅します。スイッチから手を離してください。
- 警報停止スイッチを再度、約3秒間押し続けると「ピッ ピッ ピッ ピーピー」と鳴り、初期化が完了します。



廃棄について

△注意

● 警報器のネットワーク情報を初期化して廃棄してください。初期化の方法はP.11「ネットワーク情報の初期化について」をご参照ください。
● 警報器はルーター情報(SSIDやパスワード)を記憶しており、情報を残したまま廃棄されると、お客さま宅のネットワーク機器情報が不正に取得される可能性があります。

【リース契約の警報器の廃棄】

有効期限が過ぎた警報器は、販売店にて回収いたします。

【お買上げいただいた警報器の廃棄】
お客さまにて、お住まいの市町村の廃棄物の処理方法にしたがって廃棄してください。

● 動作点検
警報器が正常に動作していることを確認するために、警報停止スイッチによる点検を行ってください。

- 警報停止スイッチを約1秒間押すと「ピッ」と鳴り緑(電源)ランプが点滅しますので、手を離してください。
- 全ランプが1秒間点灯し、「正常です」が鳴ります。
※ 過去約10日以内に警報が作動した場合は、全ランプが点灯、1秒消灯のあと、最後に作動した警報の原因に併ったランプが、約1秒間点灯します。(鳴動原因表示機能によるものです)

【鳴動原因表示機能】

音声内容	緑(電源)	黄(CO警報)	赤(ガス警報)	警報の種類
無音	点灯	点灯	点灯	ガス警報 CO警報

※電源投入後、約25分以内に鳴った警報は表示されません。

アフターサービスについて

● この警報器は、5年間の無償保証です。この取扱説明書に書かれている内容を守っていただいたうえで、警報器が正しく作動しないことが判明した場合には、無償でお取り替えいたします。ただし、保証書に記載されている保証の適用除外の項目に該当する場合は、この限りではありません。保証書をご参照ください。

● 保証書に取付け年月および販売店名の記入のないものは、無効となる場合があります。
● お取り付け時にご確認ください。

● この警報器の有効期限は、お取り付け後5年間です。有効期限とは警報器の性能を保証できる期間であり、5年を経過した警報器は、規定の警報ガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがありますので、ぜひ新しい警報器とお取り替えください。

● 保証書は大切に保管してください。
● アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店または最寄りのガス会社までご連絡ください。

● 警報器の有効期限を過ぎたときは、販売店または最寄りのガス会社までご連絡ください。
● 警報器をご希望の場合には、有償にて点検いたします。販売店または最寄りのガス会社までご連絡ください。

● 引越しされるときは、販売店または最寄りのガス会社までご連絡ください。
● 他の地区に引越されたときは、最寄りのガス業者に連絡をとり、ガス種に適合していることを確認してください。

仕様

項目	仕様
対象ガス	都市ガス(空気より軽い12A・13Aガス用) 燃焼排ガス中のCO
警報方式	70dB(A)/m以上
検知方式	半導体式
ガス警報表示	● 作動条件 ☆ 準拠下限境界値の1/4の都市ガスに対し60秒以内に警報 ● 発報方式 赤(ガス警報)ランプ点灯
ガス注意報表示	● 作動条件 ガス警報濃度以上の都市ガスに対し注意報 ● 発報方式 赤(ガス警報)ランプ点滅 ● 発報音無し
検知方式	電気化学式
CO警報	● 作動条件 550ppmのCOに対し 5分以内に警報 300ppmのCOに対し 10分以内に警報 ● 表示方式 黄(CO警報)ランプ点灯または点滅 ● 発報音 音声合成音
CO注意報	● 作動条件 300ppmのCOに対し 5分以内に注意報 ● 表示方式 黄(CO警報)ランプ点滅 ● 発報音無し
一般財団法人日本ガス機器検査協会(JIA)都市ガス用ガス警報器検査規程 認定合格品	
電源	AC100V±10V 50/60Hz
消費電力	監視時 約0.7W、警報時 約0.9W
無線部	準拠規格: IEEE 802.11 b/g/n、使用周波数帯域: 2.4GHz、セキュリティ: WPA2/WPA-Personal/WEP ^{※1} 、無線LAN設定: WPS、手動
検知方式	温度: ハンドキャップ式、湿度: 静電容量式、人感: 集電体赤外線式
共通仕様	● 温度: ハンドキャップ式、湿度: 静電容量式、人感: 集電体赤外線式
使用温度範囲	0℃～50℃(結露しないこと)
寸法・質量	幅98×高さ98×奥行30.5mm(突起部を除く)
電源コード	長さ2.5m(約2.2mは警報器背面に巻取可能)
付属品	コード振れ止め3、木ねじ(φ3.1×10mm)×3、木ねじ(φ3.1×16mm)×1、取付フック×1、ピン(φ1×20mm)×10、取扱説明書(保証書付)(本書)×1、施工説明書×1

☆ 爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。その範囲を爆発限界として、最高濃度を爆発上限界、最低濃度を爆発下限界といいます。

※1 警報器と接続するルーターのセキュリティに関する設定は「WPA/WPA2」「WPA2」「WPA」の暗号化方式としてください(「WEP」の暗号化方式にも対応しておりますが、情報セキュリティの観点から推奨いたしません)。

● このソフトウェアは、Apache 2.0ライセンスで配布されている製作物が含まれています。
http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0
詳細は以下をご確認ください。
https://docs.espressif.com/projects/esp-idf/en/latest/esp32/COPYRIGHT.html

● Wi-Fi、WPS、WPA、WPA2は、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。

● IEEEは、The Institute of Electrical and Electronic Engineers, Inc.の商標または登録商標です。

知的財産権について

● このソフトウェアは、Apache 2.0ライセンスで配布されている製作物が含まれています。
http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0